

同窓会報

発行者
上田千曲高等学校同窓会

印刷所
株式会社 サラト



平成11年度 総会開らかる (於 桐葉館)

会員の皆様には、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素同窓会にたいし、格別なる愛郷を賜り、ありがとうございます。

我が国の経済は、政府の相つぐ経済対策、公共投資の前倒し税制改正など一連の景気対策の効果で浸透し、金融不安が解消した感がありますが先行きの不透明感は払拭できない一年であった。この間、同窓会をお受けし会の運営また、学校行事など、暗中模索の日々でありましたが、校長先生を始め、教職員ならびに関係各位の精意なるご協力により半期が過ぎました。後期も動揺せず協力を願いたい。

先般経済審議会の十ヶ年計画が発表された。九十年代の不況は、単なる景気循環の谷でなく「結果の平等」を過度に重んじた戦後の制度、慣習の行き詰まりのあらわれである。

日本経済が近代工業の時代から「知恵の時代」への「歴史的転換」に直面していると指摘し、このことを認識することが、この不況を乗り越える基本であると、いつている。



強く鐘を叩こお

同窓会長 久保田 高冬

(昭二六・建卒)

今迄の成長を支えた近代工業社会は、規格大量生産型の経済社会を目的として、国が定めた規格と検査によって統一された商品を生産し経済を拡大してきた。それに伴い、人間も「会社人間」が急増され、この人達は、得てして横並び意識が強く狭い視野の型にはまった競争に陥りがちで、バブル崩壊以降の低成長時代における社会経済の急速の流れに順応ができず、混沌と閉塞感も際立ち弊害も大きくなってきた。

そこで、二十一世紀の「あるべき姿」の条件として、長引く景気低迷を打破するため、あらゆる分野に「競争型社会」への転換を計り、活性化を狙い、初めから新しい姿を描くことを目標にしている。

特に注目することは、学校選択の拡大として、多様な学校の設置や、通学区の弾力的な運用の促進など、学校選択機会の拡大を図り、各高校の特色ある教育方針にしたがい、「競争の哲学」を持った人間教育が求められている。

そこで私も学校に足を運ぶ回

数が増え、先生方のご苦勞が身に沁みる。教室での私語が多い事が耳に入る。

中国古典 礼記に
善く問ひを待つ者は、
鐘を撞くが如し
現代の教室風景とはおよそ異質な、良き時代の教師と生徒の関係を語った言葉である。

「善く問ひを待つ者」とは、立派な先生をいい、
「鐘を撞くが如し」とは、鐘を弱く叩けば、小さな音がし、強く叩けば、大きな音を出す。教えを受ける者の叩きかたにより大小の違った音がする。

我々仕事の場に於いても同じであり、同窓会も、学校のために強く鐘を叩きたいので、皆様の協力をお願いします。

同窓会協力金 納入のお願い

詳細は8ページをご覧ください

同窓会事務局



ごあいさつ

学校長 石田 英勝

初秋の候、同窓会員の皆様におかれましては、益々御健勝にて御活躍のこととお慶び申し上げます。

私は、今春、本校に赴任し皆様のお仲間入りをさせて頂きました。実は、千曲高は私の初任校です。強い御縁と感激し、皆様方の母校に寄せる熱い思いにお応えできるよう、全力を傾注する覚悟です。どうか、忌憚のない御意見を下さいますよう、

切にお願い致します。

さて、平素は皆様には、物心両面において並々ならぬ御協力を頂きまして、心から御礼申し上げます。特に卒業生の就職につきましては、力強い御支援を頂き、心から有難く、生徒共々幸せをかみしめております。

報道によりますと、本年は、殊の外、厳しい就職戦線が予想され憂慮に耐えません。どうか皆様方の旧倍の御協力を伏してお

願ひ申し上げます。

母校では、来春、初の生活福祉科卒業生を送り出す予定です。只今、後輩たちが希望を持つて後に続けるよう、懸命に土台を築いているところです。どうか暖かい目で見守って下さい。

先頃、同窓会名簿が発刊され、皆様方の絆が一層深まったことと思います。会員約二万三千余名の皆様方の御期待に添うよう、伝統を汚さぬよう全校一丸となって努力を続けておりますので御指導御鞭撻をお願い致します。

最後に皆様方の御多幸を祈念致しまして御挨拶と致します。

同窓会の思い出

副会長 山浦 幸知子

新副会長として、原稿を書いてももらいたいと事務局から云われ戸惑いました。

長年原稿と云うもの書いたことがない、千曲高校六十年誌以来でしょうか。

同窓会の理事をやらせて頂くようになったのは、前会長成沢秀敏さんの誘いからです。これこれ二十年近くになりま

す。光陰矢のとし、思えばほんとうに永く携わってきたものです。

最初のころは恥ずかしさが先に立ち、理事がいやでいやで仕方ありませんでした。

最初のころの総会は、学校開放に合せて開催すれば集まるのではない、でもたいして変らずいつもの理事、代議員の数人だけで情けなくなりました。

同級生に声をかけても気のない返事、声のかけ方が悪かったのでしょうか、いつも自問、自答の繰返しでした。

平成になってからでしょうか、学校と切り離し別会場での今様の祥園や、ささやで総会を開催、講演を計画し、第一回目は卒業生の深町共栄さん（埼玉工業大学教授）の講演をして頂き、この時は五十人位の出席でしたでしょうか、卒業生の数から云

えば少人数ですが、私達にしてみればよかったと、よろこんだものでした。

初めて関東支部の総会に出席してみても、盛大で出席者の多さには驚かされ、声も出ずただ呆然としていたものです。

これでは、関東支部の役員に本部は何をやっているんだ、とお叱りを受けるのも、もっともだと思いました。

平成九年の八十周年記念には、諸先生始め卒業生皆様の力を借り、無事盛大に終ることが出来、携わった者として、うれしく思い、あの寄附集めの苦勞が飛んでしまいました。

在校生が清楚な服装で、来賓等の案内をしている、又、長時間の式典にもかかわらず、私語が聞えず感心しました。生徒代表のお礼のあいさつにも感動させられました。

ちまたでは今の子供達は、落ちつきがなく、私語が多く先生の話など聞いていないと云いますが、千曲高校の生徒達は見捨てたものではありません。これも先生方の御指導の賜物と思っております。

理事に携わることにより、色々な人達と接し、教えられることばかりで、よかったと感謝しております。

どうぞ皆様、母校を誇りに思い、同窓会の発展に御協力を願ひ致します。



ごあいさつ

PTA会長 玉井 信一

同窓生の皆様方、益々ご健勝でご活躍のこととご拝察申し上げます。

同窓会の久保田会長を中心として皆様方には、千曲高校の発展と子供達の健全育成の為に、物心両面から、ご支援とご協力を賜りましてありがとうございます。

私は、昭和四十四年三月に本校建築科を卒業致しました。微力ではございますが、OB、P

TA会長として母校の発展のために尽くす覚悟でおりますので、よろしくお願い申し上げます。

長引く不況と先行き不透明な経済状況の中で、本校の生徒達明るい話題も多いです。クラブ活動で、北信越、インターハイ、全国大会へ駒を進めて、クラブ振興費の増額徴集とうれしい結果です。これも生徒の頑張り、そして指導の先生方の情熱の表

れでも有ります。しかし反面、求人の減少、中退者の増加等、高校生を取り巻く環境は、大変厳しいものがあります。21世紀を担う生徒達が、いかに高校時代に自分に適した道、方向を探していけるか、家庭環境、学校の指導、地域のバックアップで連携をとり一体となって、子供達一人一人が道を誤る事の無い様、大きな目で、時には厳しい指導そして心の通った対話の中から先輩達が築いて来た千曲高校の伝統を受け継いでもらいたいものです。終わりに、同窓会の皆様のご健康とご発展を祈念申し上げます。

平成11年度 上田千曲高校同窓会 役員組織

	氏 名 (旧姓)	卒年・科	支部名	(自治会名)	郵便番号	住 所	T E L
名 譽 会 長 (学 校 長)	石田 英勝				387-0021	更埴市稲荷山316-8	026-274-2844
会 長	久保田高冬	昭26建	川西	(下室賀)	386-1542	上田市大字下室賀1099-1	0268-31-2183
副 会 長	柳町 照雄 成澤 學	昭21機 昭27商	中央 関東支部	(北大手)	386-0023 114-0003	上田市中央西1-9-5 東京都北区豊島1-29-1 王子コーションマンション805	0268-22-6579 03-3914-3500
	山浦幸知子(北村)	昭30商	西部	(緑が丘)	386-0022	上田市緑が丘1-6-26	0268-22-6478
	宮澤 令行	昭33建	富士山	(中組)	386-1212	上田市大字富士山3530-1	0268-38-3266
	若林 邦彦	昭37電	南部	(松尾町)	386-0012	上田市中央1-2-7	0268-24-5656
顧 問	窪田 昭三(平林)	昭21建	南部	(北天神町)	386-0025	上田市天神1-2-30	0268-22-4718
	佐藤 次雄	昭20建	西部		386-0027	上田市常盤城5-1-27	0268-22-5764
	滝崎 隆	昭20機	中央		386-0012	上田市中央4-8-2	0268-22-0038
	田中 重信	昭21機	中央		386-0024	上田市大字1-3-12	0268-24-2166
	成澤 秀敏	昭24機	西部	(諏訪部)	386-0027	上田市常盤城3-1-20	0268-24-3804
相 談 役	金沢 秀世	昭25機	関東支部		358-0012	埼玉県入間市東藤沢5-12-7	042-962-4074
	杉崎 斌	昭31機	殿城		386-0151	上田市大字芳田1574	0268-36-3182
	香山 昇久	昭34機	北部		386-0012	上田市中央6-6-13	0268-27-1983
理 事	片桐 順子(山岸)	昭24本	東部	(踏入)	386-0015	上田市常入1-7-85	0268-24-6638
	六川 幸昌	昭26機	東部町		389-0518	小県郡東部町大字本海野1496	0268-62-1532
	杉山 博基	昭26機	殿城		386-0151	上田市芳田1380-12	0268-35-2192
	柳沢 昇	昭26機	北部	(新田)	386-0011	上田市中央北1-9-22	0268-22-8827
	手塚 晃生	昭26機	中塩田	(本郷)	386-1323	上田市大字本郷1294	0268-38-4399
	上羽 貞子(塩沢)	昭26家	西部	(緑が丘)	386-0022	上田市緑が丘3-18-3	0268-23-1675
	小林かね子(小林)	昭27被	西部		386-0027	上田市常盤城5-7-33	0268-23-1561
	松井けさ枝(池内)	昭27被	城下	(御所)	386-0033	上田市御所514-2	0268-24-4841
	坂口 幸隆	昭27建	真田町		386-2201	小県郡真田町大字長5159	0268-72-3410
	玉置 町子(浦原)	昭28家	関東支部		274-0072	千葉県船橋市三山3-32-18	047-472-5001
	杉崎壽三男	昭29建	関東支部		176-0012	東京都練馬区豊玉北6-7-14	03-3992-0990
	石原 張男(赤岡)	昭29機	南部	(大手町)	386-0024	上田市大手1-3-3	0268-24-5221
	金子喜久雄	昭29機	東部	(北常田)	386-0018	上田市常田2-32-3	0268-24-7074
	針山 滋	昭30商	北部	(愛宕町)	386-0012	上田市中央6-11-9	0268-22-8996
	高橋 清子(坂下)	昭30商	関東支部		363-0013	埼玉県桶川市東1-4-19	048-775-9272
	北澤 誠	昭30建	真田町		386-2203	小県郡真田町傍陽11559-1	0268-73-2622
	安藤 孝子(小池)	昭30家	西塩田	(塩田新町)	386-1434	上田市大字新町247	0268-38-3611
	村山ひとみ(甲田)	昭31商	中塩田	(五加)	386-1324	上田市大字五加54	0268-38-2188
	窪田 栄(窪田)	昭31家	東塩田	(平井寺)	386-1213	上田市大字古安曾652	0268-38-2704
	山崎 せき	昭31家	北部	(山口)	386-0001	上田市大字上田1902	0268-22-9603
	合葉 啓	昭32商	真田町		386-2202	小県郡真田町本原778	0268-72-3876
	飯島 延雄	昭32機	塩尻	(秋和)	386-0041	上田市大字秋和492	0268-27-3969
	細谷 純夫	昭32機	神科	(長島)	386-0002	上田市住吉1099	0268-24-9711
	丸山 正明	昭33機	神科	(蛇沢)	386-0001	上田市大字上田1425	0268-23-2365
	大川 秀一	昭33機	神科	(長島)	386-0002	上田市大字住吉4-5	0268-27-1772
	白石 洋一	昭34建	川辺・泉田	(上田原)	386-1102	上田市大字上田原873-2	0268-24-2622
	土屋 作雄	昭34商	川西	(下室賀)	386-1542	上田市大字下室賀2761	0268-31-2196
	手塚 克巳	昭35建	中央	(北大手)	386-0023	上田市中央西1-5-29	0268-24-2220
	林 明男	昭35建	東信支部		384-0092	小諸市平原1852	0267-22-2519
	吉田 元	昭35機	東部	(泉町)	386-0017	上田市踏入1-6-24	0268-24-3427
	深町 共栄(山岸)	昭37電	関東支部		366-0052	埼玉県深谷市上柴町西5-7-82	048-572-7150
	宮下 幸良	昭42建	殿城	(小井田)	386-0151	上田市大字芳田468-6	0268-36-3518
	田中 剛	昭42電	城下	(諏訪形)	386-0032	上田市大字諏訪形496-1	0268-27-0795
幹 事 (全日教頭)	窪田 廣延				386-0027	上田市常盤城6-3-4	0268-27-1072
(定時教頭)	藤井 義道				386-0033	上田市御所番外53-307	0268-21-1384
(同窓職員)	大池 勝利	昭32機	東信支部		384-0000	小諸市甲1648-8	0267-22-1816
(〃)	春原 浩一	昭37電	東塩田	(鈴子)	386-1213	上田市古安曾1869	0268-38-6432
(〃)	関 弥州武	昭49機	城下	(中之条)	386-0034	上田市中之条881-7	0268-23-7312
(〃)	清水 高市	昭50建	神科	(畑山)	386-0003	上田市大字上野2731	0268-27-0792
(〃)	関間 俊文	昭60機	北部	(新田)	386-1102	上田市大字上田原719-2	0268-25-7080
事 務 局 (事 務 長)	野沢 今吉				380-0935	長野市中御所4-11-C-224	026-227-3258
(定時職員)	佐藤と四郎				386-1102	上田市上田原731-2	0268-27-5951
(同窓職員)	林 明男	昭35建	東信支部		384-0092	小諸市平原1852	0267-22-2519
(同窓職員)	斎掛 延幸	昭45機	川辺・泉田	(吉田)	386-1105	上田市大字吉田8-1	0268-27-3278
(職 員)	細田 英俊				386-0027	上田市常盤城6-9-2	0268-25-7451
(職 員)	犬飼 健一				386-0005	上田市古里1843-5	0268-23-6810
(職 員)	石坂 美幸				378-0001	更埴市雨宮2385-1	026-274-3833
監 事 (代 議 員)	内海 喜内	昭36機	上田日本無線		386-2201	小県郡真田町長3858	0268-72-2450
(〃)	春原 宗明	昭36電	中部電力		386-0014	上田市材木町2-13-112	0268-25-4083
(〃)	島形 建夫	昭38機	山洋電気		386-1602	小県郡青木村村松959-1	0268-49-2452
(〃)	山岸 基	昭49機	東京特殊電線		386-0401	小県郡丸子町大字塩川1460-9	0268-36-3448

*自治会名等不備がございますが、ご了承下さい。

平成11年度 上田千曲高校同窓会 代議員名簿

企 業 別	氏 名	卒年・科	支 部 別	氏 名 (旧姓)	卒年・科
山洋電気(株)	島形 建夫	昭38機	上田市東部	三井 健司	昭31建
日精樹脂工業(株)	土屋 康雄	昭39機	上田市南部	塚田 文子(久保田)	昭26家
オルガン針(株)	金井 弘海	昭34機	上田市中央	小松 啓一	昭41建
(株)城南製作所	中田 一雄	昭36機	上田市北部	横尾 智靖	昭31機
上田日本無線(株)	内海 喜内	昭36機	上田市西部	西脇徳次郎	昭24併
上田昭栄(株)	山部 一巳	昭46電	上田市城下	浦野 弘	昭30建
シナノケンシ(株)	一之瀬 勤	昭48電	上田市塩尻	宮下 政晴(竹村)	昭29建
(株)長野計器製作所	春日 正晴	昭33機	上田市川辺泉田	竹内 勇二	昭43建
東京特殊電線(株)	山岸 基	昭49機	上田市神川		
アート金属工業(株)	平林 幸一	昭48機	上田市神科	塚原 幹雄	昭29機
カネテック(株)	中沢 進	昭39機	上田市豊殿	吉原 克幸	昭39電
東信土建(株)	飯島 祐二	昭40建	上田市富士山	古田 捷子(滝沢)	昭36家
日本たばこ産業(株)	小林 義幸	昭57機	上田市東塩田	滝沢 正博	昭32建
上田市役所	逢坂 澄夫	昭44機	上田市中塩田	馬場 友幸	昭33機
日信工業(株)	根津 正吾	昭41機	上田市西塩田	竹内 功	昭26建
信越電線(株)	堀内 尊善	昭31機	上田市別所温泉	西本 嘉子(西条)	昭27家
上田千曲高校	大池 勝利	昭32機	上田市川西	宮崎善次郎	昭31機
(株)栗林製作所	宮沢 文男	昭43機	真 田		
日置電機(株)	萩原 昇一	昭39電	青 木		
東京精電(株)	竹下 秀幸	昭52電	和 田		
(株)内藤建築設計事務所	内藤 規	昭27建		萩野 久子(内田)	昭37家
中部電力(株)	春原 宗明	昭36電			
(株)ミヤノ					

協賛広告

この度の同窓会報発行にあたり協賛広告をお願いいたしましたところ、記載の方々よりご協力をいただきました。大変多数のご協力をいただき深く感謝申し上げます。記載順は同窓会名簿に従いました。(卒業年順、名簿科順による。)

株式会社 召田ホンダ

召田 満子 (昭和 19 年本科)

小山会計事務所

小山 秀典 (昭和 21 年機械科)

サンギフトチェン本部
ツチヤホームズ

柳町 照雄 (昭和 21 年機械科)

フラワーセンター
マルズミ

山崎 國司 (昭和 21 年機械科)

青柳ミシン商事株式会社

青柳 行則 (昭和 25 年機械科)

久高建築設計事務所

久保田 高冬 (昭和 26 年建築科)

(有)大東食品工業

近藤 幹雄 (昭和 26 年建築科)

パティスリー あき
(フランス菓子)

杉山 博基 (昭和 26 年機械科)

(有)下田タイプ印刷

小林 洋子 (昭和 26 年家庭技芸科)

内装技研工業株式会社

成澤 學 (昭和 27 年商業科)

(株)石原産業

石原 張男

(昭和 29 年機械科)

寿自動車工業

針山 寿男 (昭和 29 年機械科)

(株)堀内製作所

堀内 文夫 (昭和 29 年機械科)

(有)ニットウエハラ

上原 良治 (昭和 29 年商業科)

安藤建設株式会社

安藤 孝子 (昭和 30 年家庭科)

(株)赤坂建設

甘利 信一 (昭和 31 年建築科)

丸山一級建築士事務所

丸山 一郎 (昭和 31 年建築科)

窪田建設株式会社

窪田 栄 (昭和 31 年家庭科)

上田市建設事業協同組合

園部 勝則 (昭和 33 年建築科)

コロナ技建株式会社

宮澤 令行 (昭和 33 年建築科)

新栄自動車工場

石井 章平 (昭和 33 年機械科)

工房・おおかわ

大川 秀一 (昭和 33 年機械科)

太田建築

太田 章雄 (昭和 33 年機械科)

ペルシヨップ N・D・Y

矢島 勝人 (昭和 33 年機械科)

中央印刷

塩谷 明子 (昭和 33 年家庭科)

(株)赤坂建設

白石 洋一 (昭和 34 年建築科)

北村塗装店

北村 一往 (昭和 34 年商業科)

タイヤ館上田

土屋 作雄 (昭和 34 年商業科)

(株)プリーストンタイヤサービス東部

土屋 作雄 (昭和 34 年商業科)

株式会社 藤沢商店

藤沢 志げ子 (昭和 34 年家庭科)

(株)清水工務所

清水 泰男 (昭和 35 年建築科)

日機工業株式会社

坂下 嶺夫 (昭和 35 年機械科)

南波 伸亮(昭和39年建築科)	有 限 会 社 伸 成 建 設	田中文子(昭和38年家庭科)	フ ラ ワ ー デ ザ イ ン 教 室 講 師	鈴木 昌博(昭和37年商業科)	長 野 銀 行 本 店	深町 共栄(昭和37年電気科)	埼玉工業大学	久保田 元康(昭和36年建築科)	(株) 赤坂建設	松井 和夫(昭和35年機械科)	(有) 松井製作所	堀内 卓雄(昭和35年機械科)	(有) 上田原印刷
羽田 明(昭和47年建築科)	小 福 田 ・ 羽 田 建 築 設 計 室	宮沢 孝一(昭和46年機械科)	K M 精 工	竹内 和男(昭和45年機械科)	(有) ケーキと塩田銘菓の店 梅 光堂	藤岡 辰雄(昭和45年建築科)	建築設計・監理 ア ス カ	長谷川 正男(昭和43年建築科)	開 建 築 企 画 構 造 企 画 室	内藤 幸子(昭和41年家政科)	手 打 そば 刀 屋	成沢 希(昭和39年商業科)	(株) 赤坂建設
清水 一秋(平成5年電気科)	(株) 赤坂建設	木藤 美奈(平成4年商業科)	(株) 赤坂建設	笹沢 克之(昭和60年機械科)	有 限 会 社 花 よ し	浜村 宏昭(昭和57年建築科)	株式会社 浜村建工	滝沢 寿寿子(昭和56年家政科)	(株) 赤坂建設	太田 厚(昭和54年機械科)	太 田 鉄 工 所	朝倉 正宜(昭和51年建築科)	有限会社 A.C.設備設計 エー・シー
平成11年度版 同窓会会員名簿頒布のお知らせ 平成10年2月から新郵便番号となり「同窓会会員名簿」も新郵便番号による住所表示で発刊されました。会員の皆様、この名簿により共に学んだ高校時代の日々の先輩・級友・後輩を思い出し懐かしみ、所在を確認しあい、将来に向かって同窓生間の親睦を深めて、連帯を一層強めるために、ご活用いただければと願っております。 名簿頒価 4,500円(送料・税込み) 記載内容 創立80周年記念事業写真 学校の沿革 同窓会規約 同窓会支部規程 職員名簿(現職員・旧職員) 会員名簿 氏(旧姓)名・☎・現住所・☎・勤務先・☎・自治会名 規 格 B5判 740ページ ※お問い合わせは、上田千曲高等学校 同窓会 事務局迄 *ホームページの紹介* 平成9年9月より、インターネットで上田千曲高等学校のホームページを掲載しております。数多くのメニューがありますので、ぜひご覧ください。 アドレス(URL)は次の通りです。 http://www.ueda.ne.jp/~chikuma/				関東支部二八会懇親の会 二十八年卒業幹事一同				上田日本無線(株) さ ぎ ざ な み 会 千曲高校卒業生の会				(株) 赤坂建設 山田 真理(平成7年商業科)	
				ト シ マ 家 電				上田千曲高校同窓会関東支部 家政部会幹事一同				(株) サカシタマシニックス 坂 下 丈 夫	
								(有) ス ド ー 写 真 館					

本校の近況報告

全日制教頭 窪田 廣延

同窓会会員の皆様方には、日頃より、本校教育の活性化のためにご理解とご協力を頂き深く感謝申し上げます。

さて、本年度は三三〇名の新生を迎え全日制、定時制合わせて九五六名でスタートしました。上田駅からの学校へは千曲川の川風の爽やかな通学路に恵まれ、学校の行き帰りにには精神がリフレッシュされるのではないかと思います。このような環境の中で、勉学にクラブ活動に熱心に取り組む日々を送っています。

五月中旬より東信体育大会が開かれ、それを勝ち抜き、十の班が県大会へ出場しました。その結果、ソフトテニス班が北信越大会とインターハイへの出場権を得ました。そして、北信越大会では団体、個人とも二位となる快挙を成し遂げました。文化班では商業同好会がプログラム競技会の個人戦での全国大会出場権を得ました。今後の活躍を期待したいと思います。

ところで、本校では専門高校として卒業後は実社会へすぐに出る生徒が多い中、嫉と身だしなみが肝要との観点から指導し

て行きたいと考えております。

ご存じのNHKの大河ドラマ「元祿繚乱」の中に出てくる山鹿素行の「山鹿語類」に「外面がよく整つて厳肅でありさえすれば、必ず心は統一されている。心が統一されていれば、必ず間違つたことはしないものだ。」と書かれています。このような考え方から、生徒指導係の先生方を中心に朝の登校、身だしなみ指導等に日頃から力点を置いて指導しています。また、きちんと挨拶ができることも大切ですので、言い古された言葉ではありますが、オアシス運動も取り入れたいと考えています。将来地域社会の中心となる卒業生諸君が立派な社会人となるよう引き続き鋭意努力してまいりたいと思います。

最後になりましたが、同窓生の皆様方の益々のご健勝とご活躍を祈念申し上げ、近況報告と致します。

定時制教頭 藤井 義道

会員の皆様には、平素より本校定時制の教育活動のために、ご理解とご協力をいただき深く感謝申し上げます。

昭和二十三年に、勤労青少年のための教育機関として定時制

が発足されましたが、本校定時制は、やや遅れ昭和三十六年に機械科が設置され、今日に至っています。この間の社会情勢の変化は、全日制志向を高め、定時制への入学生徒を減少させ、生徒の状況も、勤労青少年のほか、中学時代に長期欠席の経験をもつ者、全日制に在学していたがなじめなかつた者、勉学の余裕のできた社会人等の在籍で多様化が進んでいます。

本年度は十名の一年生を迎え生徒総数三十一名でスタートをしました。個々の生徒の学力、性格、境遇等多様であり、まず、自分を見直し一日の生活のリズムを確立することから始まります。少人数の家庭的な雰囲気を活かし、個性をしっかりと受けとめ、その生徒にあった学習の修得や自立が達成できるよう職員一同努力をしております。

クラブ活動では、バドミントン・軟式野球で県大会出場を果たしました。全国大会への切符はのびましたが、まとまりのある粘り強い姿がみられました。集団生活の意義を理解し、意欲的な学校生活に期待したいと思ひます。今後ともご支援をよろしくお願い申し上げます。最後になりましたが、皆様方の益々のご活躍とご健勝を祈念申し上げます。

クラブ活動の報告

平成 11 年 7 月 20 日現在

《本年度活躍状況》

男子ソフトテニス班 2年連続インターハイへ
県 団体 準優勝
個人 三位 (インターハイへ)
北信越 団体 準優勝
個人 二位
県大会へ出場した班
柔道 弓道 卓球 山岳 ハンドボール
女子 ソフトボール バスケット バレーボール
文化部
・プログラム競技大会
海野久美子 準優勝 全国大会へ
・簿記選手権大会
海野久美子 準優勝 全国大会へ

野球班

春季北信越高校野球 東信予選 对上田東 32対0 1回戦敗退

全国高校野球選手権大会

1回戦対木曽高校 28対20 8回コールドの勝利 2回戦 対長野吉田高校 1対8 8回コールドで敗退

定時制野球大会 東信地区大会 優勝 県大会 3位

《昨年度未報告の活躍状況》

昨シーズンのスキー班の活躍

・インターハイ
小林さつき
女子回転 56位
女子大回転 13位
・全国高校選抜スキー大会
女子大回転 4位
女子スーパー大回転 6位
・ジュニアオリンピックカップ
兼ジュニア選手権大会
小林さつき 優勝

学校「便所」考

上田千曲高等学校 建築科
教諭 相原文哉

学校の便所は男性、女性用の専用に分かれている、それは階毎にあり、おおむね廊下から入る。内部はタイル仕上げで水洗式である。最近の傾向として大便器に 1 個は洋式を設置するが、本校は古いので全部が和式便器であり、小便器は床置のストール式である。廊下からフラッシュ戸（扉）を開いて便所内に入ると片方に小便器が 5～8 個並び、その反対側に大便器（ブースと言う個室）が 2～3 個並び、入り口近くに手洗い器と掃除用流し、掃除用具入れブースがある。

本校には南と北のホームルーム棟にそれぞれ便所がある。南棟 3 階の男子便所は廊下から入る扉に**透明ガラス窓**が設けてあり、これが問題となった。便所の位置が職員室、研究室から最も遠い位置にあるので、便所内で生じるアクシデントや事件（喫煙やいじめ）を心配して内部が見れるようにとつけた窓である。

ところが、この窓の存在が不評なのである。つまり廊下から小便中の後ろ姿が丸見えなので、この便所を使うのはイヤだという。昼休みに利用率を調べると、なるほど利用者が少ない。わざわざ 1 階の便所や北棟の便所へと大勢が移動していた。

利用率の悪い理由が明らかになったので、窓部分に紙を貼って内部を見えないようにしたところ、利用者は増した。喫煙の心配があることが今度は問題として残るのだが……。

小便所の床の汚れ

(1) どうして汚れるのか

学校の小便所の様子は 1 図のように朝顔式かストール式であるが、その真下、すぐ前の床が小便で汚れるのである。住宅の便所でも朝顔式の床下はかなり汚れてしまう。原因は、便器に届かなかった小便がこぼれ落ちたのである。こぼさないように我々男性はもっと便器に近づいて立てばよいわけだが、それが思うようにいかない。その汚れの具合を検証してみる。



1 図. 朝顔式小便器

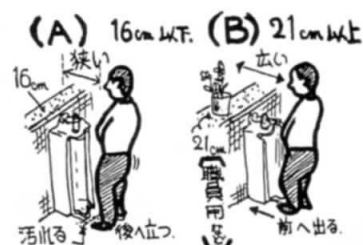
(2) 学校での汚れ

学校や会社などの小便器の状況が 2 図である。

本校の生徒用小便所は床から 1.3m の高さまでタイルが貼られ、その腰壁に白色のストール式（便器）が取り付けられる。壁の中には洗浄水の給水管が埋設されている。床から 1.3m とは丁度胸ほどの高さで、壁は一度水平（奥行 16cm、浅い棚のようになる）となりそこから白壁が天井まで垂直とつづく（2 図 A）。

実は棚状になったこの 16cm の奥行きが大事であり、我々が便器に向かって立った場合に、目の前（顔と壁の空間）のアキがどれくらいなのかと無意識に判定をし、便器前に足の位置を決め姿勢をとるのだが、人によってはやはり便器から遠くへ立つ（2 図 A の足の位置に注意）。

すなわち、便器に近く立った方がよいのだが、眼前にすぐ壁が迫るようだと、どうしても便器から遠くへと立つことになる。図のように顔と壁の間はできるだけあればよいが、



2 図. 眼前の壁までの距離

壁からの距離をゆつたりとるため、無意識に便器から離れて立つのが（2 図 A）の現状。

その結果小便を便器の先端からこぼしてしまうのであり、家庭の小便器、公衆便所、学校など汚れがひどい。

(3) 5cm の差

2 図 B は職員、来客用の便所で腰壁が高さ 1.3m で平らとなり棚状（ここに一輪ぎしの花瓶などを置く）は、21.5cm の奥行となる。生徒用便所や一般の小便所より、5cm 広い。このわずか 5cm が大きな役割を果たしている。眼前のアキが心理的に楽（圧迫感が薄らぐ）になって、我々は便器へと近づくのである。こうして便器からこぼして汚す率は少ない。先生方の使い方が丁寧だという理由もあろうが、この 5cm の差、広い 21.5cm の棚の存在によって確かに汚れが少ない。

結婚式場の便所（トイレ）では、この平らの部分が 25cm のものもある。床を見ると汚れは少ない。

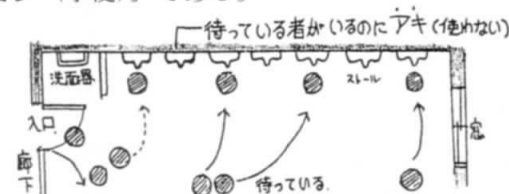
(4) 高校生の心理

チャイムが鳴って、休み時間となると大勢が小便所へ。しかし、小便器の使い方は奇妙な現象となっている。大勢が便所に集まったので 7 or 8 個の便器は全部ふさがりハズであるが結果は意外や 1 つおきに使う（3 図）。

つまり、早く便所に来た生徒が、奥の便器を基準に 1 つおきに使い、隣の便器は空いたまま。使用率 50% というわけ。待っている者がいるのに空いている便器にはけして使わず、先の占有者が終わるまで待っていて、終わった者の便器へと入る。

会社や高校のように同じ建物で仕事、勉強をする人間関係では、お互いがライバルである。競争心と気恥ずかしさがあり、すぐ横で見たり（見られたり）その音を聞かれたりするのを嫌う。会社では上司と同じ便所へ入ることを煙たがったり、能力判定を便所まで持ちこまれるという心配で、極端に嫌うあの心理と同じであろう。

ところが学校や職場を離れての遠足や旅行先において一斉に便所へ入るとなると、気楽に横に並ぶ。同好の仲間、近所同志大勢でドライブインの便所にかけこんだ場合、誰が隣にしようが気にしない。むしろ話をしながら小便をする。早く小便をしたい一心と、旅の気楽な気分による開放感からであろう。これが世に言う「関東の連れション（小便）」である。



3 図. 50% の利用率

平成十一年度 総会開かれる

昨年までは、秋季も遅く総会が開催されていたが、同窓会事業計画の終了近くになっての総会では本来の姿ではないだろうと、今年度は七月十日(土)に桐葉館(八十周年事業で改装された旧電気科棟)で行われた。

会には、恩師丸山登一郎先生始めPTA会長・相談役の三名の方々の臨席を得られて盛会のなかで、十年度事業・会計報告・監査報告と、十一年度事業計画・予算が拍手で承認された。

総会終了後、桐葉館和室において懇親会が開かれて、四時間余の懇親で旧交を温め、再会を約束して会は終了した。



懇親会

電気科創立 四十周年記念報告

電気科同窓会長 春原宗明

長引く日本経済の不況下で日本社会が激しい変革を圖らねばならない諸問題が山積している、そんな中で一昨年は本校八〇周年の節目を経て、新たな百年、二百年にむけスタートを切り、合わせて電気科創設以来初めての同窓会が上田祥園にて開催され、東京から駆け付けて頂いた坂口、深町氏らの来年は是非四〇周年をとの熱い思いを寄せられて、幹事会の発足から始めて幾度もの打合わせを行い、大勢のご協力、ご援助で昨年十月十七日、母校体育館にて、四〇周年記念行事実施の運びと成った。

当日は電気科在校生も百二十名も参加してくれて、第一部は「電気科とマルチメディア時代」のテーマで電気科三十七年卒の埼玉工業大学教授・深町共栄先生の記念講演はパワーポイントを使ってのご自身の足跡振り返りながらの興味深いお話を頂いたのであります。

引続いてシンポジウムに移り、テーマ「今の私、そして二十一世紀を生きる」と題して、深町共栄、若林邦彦(デンセン社長、三十七年電卒)、清水誠(シナノケンシ取締役技師長、

三十八年電卒)、坂口浩(歌手、五十四年電卒)の4人のパネリストとコーディネータに坂口光治(東京都議会議員、四一年電卒)氏と各界にて大活躍の諸氏にて、夫々の経験と立場から電気科在校生と共に討論し、共に交流の場がもて、それこそ二十一世紀に向けて、新たな絆を作る卒業生、先生、在校生のさらなる充実と発展への第一歩を刻めたのであります。

先生、在校生、同窓生の皆様に大変ご協力頂いて素晴らしいシンポジウムに成りました。

第2部は場所を変えて上田温泉祥園にて横田、小泉、森泉三氏の恩師、石田校長先生始め電気科の先生、久保田本校同窓会長、成沢関東支部会長さん等多数のご来賓を仰ぎ、同窓生合わせ百余名の出席のもと盛大に開演され、冒頭、松本記念行事事務局長から電気科同窓会設立の規約提案があり、満場一致にて承認され、今後隔年毎に総会を開催し、電気科の発展のために尽力することを確認した。その後パーティで歌手の坂口氏より持ち歌を存分に披露頂き、和やかに又熱く恩師、先輩、後輩との語り合いから、新たな成るネットワークの誕生でもありました。最後に校歌を全員で斉唱し、2年後の再会を誓いあつての記念行事と成ったのであります。関係された皆様方に心から御

◇協力金納入のお願い◇

「同窓会報発行および同窓会館(桐葉館)運営協力金」
2年分で2,000円(振込用紙同封)

同窓生の皆様には日頃より同窓会活動にご理解ご協力を頂き有り難うございます。昨年の「会報十二号」で「会費納入のお願い」を致しましたが、本年より「協力金」という形で皆様にお願ひすることになりました。宜しくお願ひいたします。

今迄は、新入生より入会金として頂き、会の運営を計ってきましたが、この金額では会報の発刊はもとより、同窓会の運営もより良い活動が生まれぬのが現状であります。其の上、創立八十周年記念事業の一環として同窓会館「桐葉館」が改修され、この運営費、そのほか上田市、小県郡に各支部が組織され同窓会活動が活性化され、この運動費等が増額されます。そのため、今迄の会費では今後の運営が厳しい状況であることが懸念されます。

そこで、昨年より理事会で検討を重ねた結果「同窓会報発行および同窓会館(桐葉館)運営協力金」を同窓生の皆様にお願ひすることになりました。振込用紙を同封させて頂きましたが、趣旨にご賛同を頂き、ぜひ多くの皆様にご協力をお願いいたします。



礼と感謝を申し上げます。

同窓会主要役員は以下の通り

り、会長 春原、副会長 塩谷、若林、深町、事務局 松木、春原、坂口、西沢の各氏

以上

編集後記

本年は「協力金のお願ひ」を皆様に致しました。八十周年の記念事業から今日まで同窓会の様々な取り組みが行われ、活動も活性化してきました。また、今回の「会報十三号」は多くの同窓生から広告を戴き、発刊費用を軽減させて頂きました。ここに厚く御礼申し上げます。今後、一層の同窓会活動活性化のため、皆様のご協力をお願いいたします。